その他の操作

画質を調整する

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」、「色温度」、「色の濃さ」を調整することができます。

メモ

- 車のライトに連動して昼と夜の設定を自動的に切り換えます。
- 「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」の設定は、昼と夜で別々に設定できます。
- 設定内容は、画面の種類ごとに別々に設定できます。
- 「色温度」は、LEDバックライトの経年劣化などの理由で、本機のモニターに表示している映像と実際の映像の色味に誤差が生じた場合などに調整します。
- バックビューモニター、フロントサイドビューモニター、サイドブラインドモニターの映像表示中も、それぞれ以下の操作を行うことで画質調整することができます。
- 走行中は操作できません。

1 調整したい映像の表示画面で、AV を2秒以上押す

2 左右のタッチキーにタッチして調整する

黒の濃さ

□(白)	薄くなる
■(黒)	濃くなる

コントラスト(明暗)

低	白黒の差が小さくなる
高	白黒の差が大きくなる

明るさ

暗	暗くなる
明	明るくなる

色温度

■(赤)	暖色系が強くなる
■(青)	寒色系が強くなる

色の濃さ

淡	薄くなる
濃	濃くなる

メモ

- 色の濃さは、映像系AVソース(DVDやワンセグなど)とカメラ映像を表示している場合のみ調整することができます。

3 終了 にタッチする

リアモニターを組み合わせる

本機のリアモニター出力端子に別売のリアモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、地上デジタルTV、DVD、DivX、iPodビデオ、VTRの映像が表示されます。
  SDの映像ファイル、ワンセグ、ナビゲーション、フロントサイドビューモニター、サイドブラインドモニター、バックビューモニター、AVソース画面は表示されません。
- リアモニターは、走行中/停車中に関係なく映像が表示されます。

注意

- **リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。**

メモ

- リアモニターに表示される映像は、本機のモニターに表示される映像と比べて不鮮明になります。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。

リアモニターの設置場所について

リアモニター出力は、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。リアモニター出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中映像を見ることができる位置には、設置しないでください。

タッチパネルのタッチ位置を調整する

画面のタッチキーと実際に反応するタッチ位置にずれを感じたときなどに、調整することができます。（タッチパネルキャリブレーション）

注意

- **必ず付属のタッチパネル用調整ペンを使用して画面に軽く触れてください。タッチパネルを強く押すとタッチパネルが破損することがあります。また、ボールペンやシャープペンの先など、とがった物は使用しないでください。**

メモ

- タッチパネル調整を途中で終了する場合は、AVを長く押すか、現在地を押してください。現在地を押した場合は、ナビゲーションの画面に戻ります。

1 AVを2秒以上押す

▼

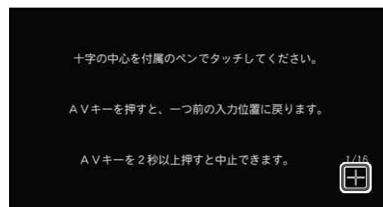
画質調整画面(→P220)が表示されます。

2 画質調整画面のままAVを2秒以上押す

▼

タッチパネル調整画面が表示されます。

3 画面に表示される＋マークの中心にタッチする

▼

16点タッチ後、画面中央にタッチすると、調整結果が保存されます。

メモ

- 保存中はエンジンを切らないでください。
- 1つ前の調整に戻るには、AVを押してください。

4 AVを2秒以上押す

▼

調整を終了し、画質調整を行う前に表示していた画面に戻ります。

メモ

- タッチパネル調整が正しく実施できない場合は、販売店にご相談ください。

設定内容の初期化とユーザーデータの消去

お客様が購入後に設定した内容や記録したデータを消去して、工場出荷時の状態に戻すことができます。

注意

- 一度消去したデータは元に戻せません。十分注意してから操作してください。
- 必要な情報は事前に控えておいてください。

1 電源をON（エンジンスイッチをON）にする

2 オープニング画面が表示されている間、現在地とAVを同時に押し続ける

▼

クリア項目選択画面が表示されます。

3 設定保存領域クリア または ユーザー領域クリア にタッチする

▼

はい にタッチするとデータがクリアされます。

設定保存領域クリア を選んだとき

<クリアされる内容>
機能設定、オプション設定、リアルタイムプローブ設定、音量設定、車両設定、地図のビューとスケールの設定、自車位置情報、VICS FM レベル3データ、VICS放送局 受信モード設定・受信周波数、VICS オンデマンドVICS情報（レベル3データ）、メモリダイヤル、通信接続設定、Bluetooth設定、ロゴマーク表示設定、案内中のルート、天気予報データ、走行履歴データ、走行履歴データ（リアルタイムプローブ送信データ）、eスタートデータなど

<クリアされない内容>
カメラ設定、カメラガイド線調整結果、走行軌跡、センサー学習、リアルタイムプローブ取得時情報、学習ルートデータ、登録地、検索履歴、セキュリティロックなど

ユーザー領域クリア を選んだとき

<クリアされる項目>
機能設定、オプション設定、リアルタイムプローブ設定、音量設定、車両設定、地図のビューとスケールの設定、走行軌跡、自車位置情報、VICS FM レベル3データ、VICS放送局 受信モード設定・受信周波数、VICS オンデマンドVICS情報（レベル3データ）、リアルタイムプローブ取得時情報、メモリダイヤル、通信接続設定、Bluetooth設定、ロゴマーク表示設定、案内中のルート、学習ルートデータ、登録地、検索履歴、天気予報データ、eスタートデータ、カメラガイド線調整結果など

<クリアされない項目>
カメラ設定、センサー学習、セキュリティロック、走行履歴データ、走行履歴データ（リアルタイムプローブ送信データ）など

メモ

- センサー学習を初期化するには、センサー学習のオールリセットを行ってください（→P81）。

パソコンリンクソフトからSDメモリーカードに保存したデータを本機で使用する

パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE」を使って、SDメモリーカードにデータを保存しておくと、かんたんな操作で本機にそのデータを転送することができます。

メモ

- あらかじめ、同梱※のSDメモリーカードを本機に登録してください。本機に登録されていないSDメモリーカードではパソコンリンク機能を使用することができません。SDメモリーカードの登録について、詳しくは『スタートブック』－「パソコンリンクソフト」をご覧ください。
  ※本製品に同梱されているSDメモリーカードはSDHCカードです。お使いいただいているパソコンがSDHCカードに対応していない場合には、市販のUSBアダプタ等をご使用ください。

SDメモリーカードに保存したデータを本機へ転送する

1 データが保存されたSDメモリーカードを本機に挿入する（→『スタートブック』）

▼

自動的に以下のデータが本機に転送されます。

- 天気予報
- 渋滞情報
- 地図データ（差分情報のみ）

メモ

- 転送が完了すると、メッセージが表示されます。地図データの差分情報に関しては、次に本機を起動した時点から有効となります。
- 地図データ（差分情報のみ）更新時に、AVソースでSD／USBを選択している場合は、自動的にOFFとなります。地図データ（差分情報のみ）更新完了後、再度AVソースをSDまたはUSBにして再生を再開させてください。

注意

- **データ転送中は、地図画面下部に更新中マークが表示されます。データ転送中は本機の電源をOFFにしたり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。**

パスワード入力が必要な地図データを転送する場合

1 地図データが保存されたSDメモリーカードを本機に挿入する（→『スタートブック』）

▼

確認メッセージが表示されます。

メモ

- 地図データの更新を開始すると、本機のすべての機能が使用できなくなりますのでご注意ください。

2 はい にタッチする

▼

更新パスワード認証確認のメッセージが表示されます。

3 はい にタッチする

4 更新用パスワードを入力し、入力終了 にタッチする

メモ

- 更新用パスワードは、パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE」で取得したものを入力してください。

5 確認 にタッチする

▼

自動的に本機が再起動し、地図データの更新を開始します。

▼

地図データの更新が完了すると、メッセージが表示されます。更新された地図データは、次に本機を起動した時点から有効となります。